

## 第4回坂出市学校再編整備検討委員会 会議録（要約版）

日時：令和3年11月24日（水）10時～11時50分

場所：坂出市役所2階大会議室

### ○会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 議事
  - (1) 前回の計画と児童・生徒数による再編案について
  - (2) 保護者・生徒用アンケートについて
  - (3) 学校施設長寿命化の費用について（概算）
  - (4) その他
4. 閉会

---

教育部長 只今より、第4回坂出市学校再編整備検討委員会を開催します。  
最初に山田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。  
本検討委員会も回数を重ね、今回で第4回目の開催になりました。  
これから核心部分に入っていく中で、様々なご意見をいただけたら  
と思います。

教育部長 会議に入る前に、当検討委員会の要綱により、出席委員が過半数を  
満たしていることから（委員総数10名のうち10名出席）、会議が成  
立していることをご報告します。

それでは、議事に入ります。委員会設置要綱第5条第1項の規定  
により、会長に議事をお願いします。

会長 それでは議事に入ります。まず初めに、議題（1）前回の計画と児  
童・生徒数による再編案について、を議題とします。事務局より資料  
の説明をお願いします。

事務局 （配布資料の説明）

会長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様  
からご質問やご意見等がありましたらお願いします。

委員 学校再編の中で、地域の拠点となる学校が無くなることは死活問  
題です。今後再編を進めていく場合には、校区の中に幼稚園や小学校、  
中学校のいずれかが残り、地域の人がこれからも社会教育に携われ

る場所を残して、再編を進めていければと思います。

委員 県教育委員会では、今年度から「せとうち留学制度」を導入しております。また全国的にも教育移住のような制度を導入し、一定の成果を挙げている自治体もありますので、将来的にはこのような制度も活用していかなければならないと思います。

委員 附属坂出小学校・中学校に通う子どもの中には、JR等の公共交通機関を利用している生徒がいることから、通学手段には徒歩やスクールバスだけでなく、公共交通機関も一つ検討していく必要があるのではないかと思います。

委員 前回の検討委員会の資料で「特色のある教育」の推進が挙げられていましたので、再編を行う時には、市としてどのような「特色のある教育」を打ち出していくのか、という視点を持って、再編も考えていく必要があるのではないかと思います。

委員 校区ごとの子どもの人数だけを追っていくと、子どもが少なくなったから統合、さらに少なくなったから統合を繰り返すだけになり、最終的には市内に学校を1つにした方が良いという結論になりますので、外部からでも坂出市の学校に通わせたいと思えるような、教育方針や学校施設等の面を踏まえた再編を行っていく必要があると思います。

委員 近所付き合いや地域の繋がり小学校区によるものが大きいため、地域住民は特に小学校に対する思いが強いです。統合により学校が無くなった後も、地域の繋がりをどう確保していくかということも考えなければなりません。

委員 王越小学校が廃校になる時、地域住民からの大反対がありました。廃校後に「交流の里おうごし」が出来たことで、今は施設の利用者に地域住民の方が鯛飯を炊いたり、ミカン狩りの体験機会を招いたり等の活動をすることで、学校に代わる新たな地域の拠点となっています。統廃合により、学校が無くなる時には、地域の拠点となるような場所も考えていかなければなりません。

委員 学校再編を考えると、小学校区と中学校区のどちらかを基準として選び、落とし込めるような再編を考えていくことが現実的であると思います。ただ、現在の校区が適正であるのか、今一度見直していくことが必要だと思います。

委員 金山小学校の場合、坂出中学校と東部中学校の校区に分かれ、同じ中学校に進学出来ないというジレンマがありますので、校区については今一度見直すべきという意見に賛同です。

- 会 長 それでは次に、(2) 保護者・生徒用アンケートについて、を議題とします。事務局より資料の説明をお願いします。
- 事 務 局 (配布資料の説明)
- 会 長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。
- 委 員 アンケートのタイトルから、アンケートの趣旨や目的が伝わらないのではないかと思いますので、「学校再編」の言葉をどこか入れていただけたらと思います。
- 事 務 局 その他の自由記述の箇所で「学校再編」に触れるように修正致します。
- 委 員 問4の「今後1学年1学級の小規模校が増えることが予想されます。」の箇所ですが、中学校の場合は1学年1学級になるのがだいぶ先の話になるのでないかという印象を持たれるかもしれませんので、表現を変えた方が良いのではないかと思います。
- 事 務 局 今後1学年1学級の小規模校の後に「中学校での団体競技の部活動等に支障が出ること等」の記載を加えるよう修正致します。
- 委 員 WEB回答の場合、回答率の把握が難しいために、回答率があまり伸びないのではないかと思います。
- 事 務 局 回答率については、日々こちらで集計可能ですので、回答率が低い場合には、回答を促すようにします。
- 会 長 次に、(3) 学校施設長寿命化の費用について(概算)、を議題とします。事務局より資料の説明をお願いします。
- 事 務 局 (配布資料の説明)
- 会 長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。
- 委 員 費用の概算で2年に渡って同じ金額を計上しているのには、継続して同じ工事を実施しているという認識でよろしいでしょうか。
- 事 務 局 はい。なお、この費用は工事を実施するに際して、単純に工事費とその年数を平準化したものになります。また実際に工事をする時には、この金額に加えて諸経費がかかります。
- 会 長 小中一貫校を実施する場合の費用はどの程度かかるのでしょうか。
- 事 務 局 小中一貫校を行っている東かがわ市の方では、60億～80億円の費用がかかったとお聞きしておりますが、児童生徒数の規模によっては金額も変わりますので、次回の検討委員会以降で試算した金額をお示し、試算金額を比較出来るよう資料を準備してまいります。
- 会 長 それでは議事の最後の(4)その他についてですが、事務局より何

かありますでしょうか。

事務局 次回、第5回検討委員会の日程調整をお願いします。  
会長 次回の日程について、12月22日の午前でいかがでしょうか。  
委員 (異議なしの声あり)  
会長 それでは、今回は12月22日、水曜日の10時半からでお願いします。

委員の皆様で、そのほか何かありますでしょうか。  
(特になし)

会長 特にないようですので、以上で本日の議事を終了します。  
教育部長 以上をもちまして、閉会とします。長時間に渡りありがとうございました。

以上

---

以上のとおり相違ないことを確認し、ここに署名します。

令和3年12月17日

会長 毛利 猛  
会議録署名人 高橋 恵